西日本日独協会会員各位　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2021.06.17

**西日本日独協会特別企画のご案内**

会員による会員のためのオンライン講義：　近代ドイツの「フォルク」

特別企画第３弾のご案内です。これまで第１弾では「チーム〈ドイツ〉の最前線」ついて、第２弾では「近現代ドイツにおける〈女性〉」について話題を提供してきました。今回は、福岡大学の先生方の協力を得て、近代ドイツの「フォルク」Volkをさまざまな観点から検討したいと思います。部分参加でも構いません。皆さまからの多数のお申し込みを、心よりお待ちしています。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　企画委員長　小黒康正

参加資格　： **「西日本日独協会会員」**ならびに**「ドイツ語講座受講者」**の皆さま

申　込　先： 協会事務局（info@jdg-nishinihon.org）にメールにてお申し込みください。

申込締切日： ７月７日（水）

視　聴　先： **Zoomを用いて行いますので**、申込者にURLとパスワードをお伝えします。

プログラム：

**■ 第６回講義　７月１０日（土）１７時から１８時まで**

田口武史（福岡大学）：18世紀ドイツの「オリンピック」

ご存じのとおり、近代オリンピックは19世紀末フランスのクーベルタン男爵の構想に端を発しますが、実はそれより100年前のドイツにもその萌芽がありました。啓蒙主義期のドイツにおいて、いち早く体育の価値を再発見した人物、グーツムーツ（GutsMuths）の業績を紹介しながら、オリンピックとスポーツを巡る目下の大騒動を考えてみます。

**■ 第７回講義　７月２４日（土）１７時から１８時まで**

須藤秀平（福岡大学）：ドイツ人のアイデンティティと「国民」の文学

「ドイツ」と一口に言っても、歴史的にはその国境は何度も変わってきました。その中で「ドイツ人」とは一体誰を指すのでしょうか。ドイツ語で語られたドイツ人のイメージや理想について、近代以降の文学とからめて紹介し、「ドイツ人」ひいては「国民」という考え方がどのように作られ、広まっていったのかを考えます。

**■ 第８回講義　８月７日（土）１７時から１８時まで**

小黒康正（九州大学）：民衆メールヒェンと創作メールヒェン

メールヒェンとは何か。それはヤヌスの相貌をもつ「小さな物語」です。一方に無名の民衆によって伝承される「民衆メールヒェン」があり、他方で特定の作者によって創作される「創作メールヒェン」があるからです。その二面性を、世界初の創作メールヒェンであるヴィーラント『王子ビリビンカー物語』（1764年）に基づいてお話しします。

…………………………………　返信用フォーマット　…………………………………

　西日本日独協会事務局 御中

西日本日独協会特別企画を申し込みます。  
　ご芳名：